

岩手県「急性期リハビリテーション」の普及促進事業への協力、岩手県庁HPに掲載

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=137&of=1&ik=1&pnp=51&pnp=94&pnp=137&cd=29200>

平成 22 年 9 月 22 日、盛岡市で開催された岩手県保健福祉部医療推進課主催の「脳卒中・急性期医療啓発フォーラム」に当院のスタッフ(原リハ科統括医長、大塚脳卒中 PT 部門長、古木言語聴覚部門長、貝梅 OT) が参加し、急性期リハ普及に向けた提言をしてきました。その議事録が岩手県庁 HP に掲載をされました。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=137&of=1&ik=1&pnp=51&pnp=94&pnp=137&cd=29200>

岩手県立中央病院からの報告に続き、当院のリハスタッフによる急性リハの実際に関しての発言、さらに「地域におけるデザインされた包括的リハビリテーションのあり方」として講演内容が掲載されています。

急性期リハビリテーションの必要性は、脳卒中診療ガイドライン（米国 2005，欧州 2008，日本 2009）の中で、レベルAとして強調されていますが、多くの DPC 病院における普及にはまだ隔世の感があるのが我が国の現実です。当院はそのトップランナーとして岩手県の普及事業への情報提供を行なうことができました。

（文責 原 寛美・リハビリテーション科統括医長）